

平成25年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	イオントロニクス学理の構築
研究代表者	岩佐 義宏
審査の所見	<p>応募者は、電気二重層を利用した電界効果トランジスタ(電気二重層トランジスタ)を開発、従来の電界効果トランジスタと比較して高密度のキャリア注入を可能とし、電界誘起超伝導等、様々な電界誘起相転移現象を実現してきた。</p> <p>本研究は、この電気二重層トランジスタを固体物理・材料科学・デバイス工学の連携により、新しい学理にまで深めようとする試みであり、学問的な評価は極めて高く、超伝導をはじめとする新奇な電子相の出現が期待されると共に、この手法が多くの研究者を引き込み、より発展する可能性が期待できる。</p> <p>以上により、特別推進研究に相応しい研究として採択すべき課題であると判断した。</p>